

学校名	山形市立宮浦小学校 山形市宮浦17の3 023-645-1479	校長	古山 茂満
		研究主任	山本 純子
研究主題	伸び伸びと豊かに自己を表現できる子ども ～表現運動を中心として～ (5年次)		
1	主題設定の理由 <p>本校では「咲かせよう 心で 体で かきつばた」を学校の教育目標に掲げ、豊かな心を持ち、たくましく生きる子どもの育成を目指している。つまり、一人一人が自分なりの花を咲かせ、自己実現ができる子どもにしていきたいと考え、次の子ども像を設定している。</p> <p>「進んで学ぶ子ども」「なかよく明るい子ども」「健康でたくましい子ども」</p> <p>一人一人が生き生きと活動し自己実現を目指すためには、心と体の解放が大きく関わってくる。そのため、心と体を一体として育てていくことが大切であると考え、平成11年度より校内研究として表現運動に取り組んできた。</p> <p>表現運動に取り組む中で、楽しさは感じてもらうが、どう動いたらよいかわからなくて抵抗がある子どももいるが、子どもは学校生活などあらゆる場面で生き生きと表現したり、グループ活動の場で認め合ったりする姿が出てきた。また、教師自身も子どもの思いや願いをくみ取って一人一人の動きを看取することができるようになってきたが、支援や評価の在り方について学ぶべき課題もある。</p> <p>表現運動は、心身が解放されていないと成立しにくい領域である。つまり、開かれた人間関係(教師と子ども、子ども同士)が土台となって初めて成り立つ。そこで、今年度は、開かれた人間関係の土台となる学級経営との関連をより明確にしながら研究を進め、豊かな心と体を育てていくため、本主題を設定した。</p>		
2	研究の目標 <p>(1) 自ら進んで表現する楽しさや喜びを味わう子どもを育てる。 (2) リズムに合わせて体を弾ませたり感じたことを体で表現したりする子どもを育てる。 (3) 互いのよさを認め合い、共に学び共に伸びようとする子どもを育てる。</p>		
3	めざす具体的な子どもの姿		
	<低学年> 楽しく表現 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の願いをもてる子ども ・まねたり、なりきって動いたりする子ども ・よいところを見つけようとする子ども 	<中学年> 伸び伸びと表現 <ul style="list-style-type: none"> ・自分のめあてをもって取り組むことができる子ども ・多様な動きでなりきって表現する子ども ・友達のよさを見つけ励ますことができる子ども 	<高学年> 豊かに表現 <ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって取り組む子ども ・心情を考え、なりきって表現する子ども ・互いのよさを認め励ますことができる子ども

4 研究の仮説

- (1) 単元構成を工夫し、個々の課題を追求させることにより、子どもは楽しさや喜びを味わい進んで表現することができるようになるであろう。
- (2) 学習の場を工夫することにより、子どもは表現する楽しさに触れながら、イメージ豊かな動き作りができるようになるであろう。
- (3) 交流活動を通して高め合うことにより、子どもは共に学ぶ大切さに気づいていくであろう。

5 研究の内容と方法

- (1) 教科体育での表現運動
児童の表現運動に関する実態を調査し、指導に生かす。
仮説を検証する授業研究を全員が行う。
合科的・発展的な扱いを工夫する。
 - ・ 題材の理解を深めたり、イメージに合う音づくりをするなど国語や音楽と体育の合科的な扱いを工夫する。
 - ・ 総合的な学習の時に学んだことを表現運動の題材に取り上げるなど、学習の発展的な扱いを工夫する。授業研究記録をとる。(支援と指導・児童の反応の記録、写真、VTR)
事後研究記録・研究だより「ウキウキ」発行で、共通理解を図る。
- (2) 教科体育外での身体表現
児童集会や朝の活動の時間(毎週木曜日)に、各学級毎に創ったリズムダンスで「ウキウキタイム」を楽しむ。
運動会で、リズムダンスを取り入れた準備運動を工夫する。
- (3) 他教科との関わり
学校行事を始め、学校生活全般で心と体を育てていくため、学級カリキュラムを作成して見通しをもった学級経営を行う。
- (4) 教師の資質の向上
教師自身の実技能力や指導法・感性を高めるために、外部講師を招いて実技研修会を設けたり、教師のダンスの校内研修会を設けたりする。